

# 原発事故の収束と、被災者への全面補償を 放射能から子どもたちを守ろう



東日本大震災・福島原発事故から5か月が過ぎ、国民は原発事故（放射能汚染）に対する東電や政府の対応に怒り、迅速な情報公開と対策を求めています。

原発から放出された放射能は、現在の科学、技術では消去することができません。

世論調査でも、原発を「減らすべき」「すべてなくすべき」が65%にのぼり、国民の総意は「原発ノー」です。

## エネルギー政策を見直し、 原発からの撤退を

### 鹿児島県・馬毛島に米軍訓練基地をつくるな

6月21日の日米安全保障協議委員会（2プラス2）で、鹿児島県の馬毛島に自衛隊の基地をつくり、米軍艦載機の離発着訓練基地として使用することが明記されました。

一方的な発表に、地元西之表市をはじめ1市3町と鹿児島県議会はただちに反対の決議をあげ、反対運動が広がっています。これは「新防衛大綱」の具体化であり、断じて許すことはできません。近くには世界遺産の屋久島もあり生物への影響も懸念されます。



普天間基地などに配備されるオスプレイはこれまで、アメリカ本土やアフガニスタンなどで少なくとも6回も墜落し、34人の死者をだした危険な軍用機です。

沖縄では38首長が反対の意思を表明しています。

## ヘリパッド=オスプレイは許さない

沖縄県東村高江では米軍ヘリパッド（離発着訓練場・6か所）建設工事が昨年12月から強行されました。住民は大切な水がめや希少動物が棲むヤンバルの森を守り、安心して住める高江を守るため24時間の座り込み監視行動によって工事を中止させています。

7月31日におこなわれた「高江ヘリパッド建設反対7・31集会」は会場いっぱいの住民で、「ヘリパッド=オスプレイは許さない」と確認しあいました。

安保破棄中央実行委員会 Eメール [anpohaiki@nifty.com](mailto:anpohaiki@nifty.com)

TEL 03-3264-4864 FAX 03-3264-4765